

衛研第3-44号
平成29年 2月 1日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. インフルエンザ流行情報
3. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
4. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
5. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
6. 全国及び関東情報
7. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成29年第4週（平成29年1月23日～平成29年1月29日）

今週の注目される疾患

図は次ページ以降に掲載

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症1人の届出があった。四類感染症は、デング熱1人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢4人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人、急性脳炎2人、侵襲性肺炎球菌感染症4人、水痘（入院例）1人、梅毒3人、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人、風しん1人の届出があった。

定点把握対象疾患では、インフルエンザ(38.55 51.68：図1, 2, 3, 4)の定点当たり報告数は、前週に引き続き大きく増加し、前年同時期(平成28年3～5週平均:30.14)よりかなり多い。保健所別では、熊谷(50.23 70.38)、越谷市(42.69 67.31)、坂戸(28.00 49.00)保健所管内で大きく増加し、朝霞(61.18)、草加(60.47)保健所管内からの報告が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(2.83 2.59：図6)の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。保健所別では、春日部(6.00)、熊谷(5.67)保健所管内で報告の多い状況が続いている。感染性胃腸炎(6.91 5.65)の定点当たり報告数は、前週よりわずかに減少した。保健所別では、熊谷(11.78)、川口(8.63)、坂戸(8.17)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、急性出血性結膜炎1人、流行性角結膜炎20人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、無菌性髄膜炎1人、マイコプラズマ肺炎3人、クラミジア肺炎1人、インフルエンザ（入院）33人(前週30人)の報告があった(図5)。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし（結核を除く）
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1人（類型 患者、血清型 O157）
四類感染症	デング熱 1人（推定感染地域 国外）
五類感染症	アメーバ赤痢 4人（病型 腸管アメーバ症 2人、腸管外アメーバ症 2人）
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1人（菌種 <i>Enterbacter</i> sp.）
	急性脳炎 2人（病原体 インフルエンザウイルスA 1人、不明 1人）
	侵襲性肺炎球菌感染症 4人
	水痘（入院例） 1人（病型 検査診断例）
	梅毒 3人（病型 早期顕症 期 1人、無症状病原体保有者 2人）
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1人（菌種名 <i>Enterococcus faecium</i> ）
	風しん 1人（病型 検査診断例）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

インフルエンザ流行情報

今週のインフルエンザの定点当たり報告数(51.68)は、前週に引き続き大きく増加(38.55 51.68)し、過去3シーズンの最大値を越えた(図1)。保健所別では、全保健所管内で増加し、熊谷(50.23 70.38)、坂戸(28.00 49.00)、越谷市(42.69 67.31)保健所管内で大きく増加した(図2)。定点当たり報告数が警報開始基準値(30.00)を上回った保健所管内は、秩父を除く15保健所管内であり、更に50.00を超えた保健所管内は、前週の1保健所管内から9保健所管内へと大幅に増加し、感染が拡大している(図3)。また、病原体サーベイランスで確認されている県内の流行ウイルスはA香港型である(表1)。

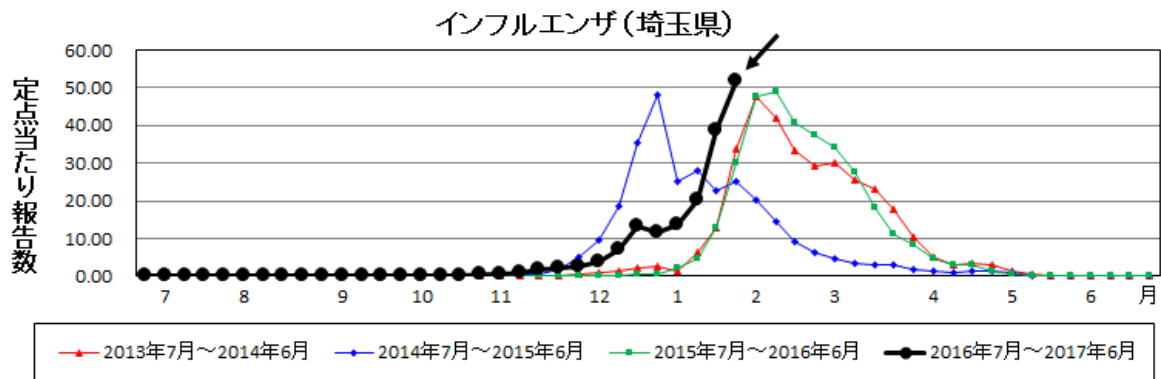


図1 インフルエンザ 定点当たり報告数の推移(2013年7月～)

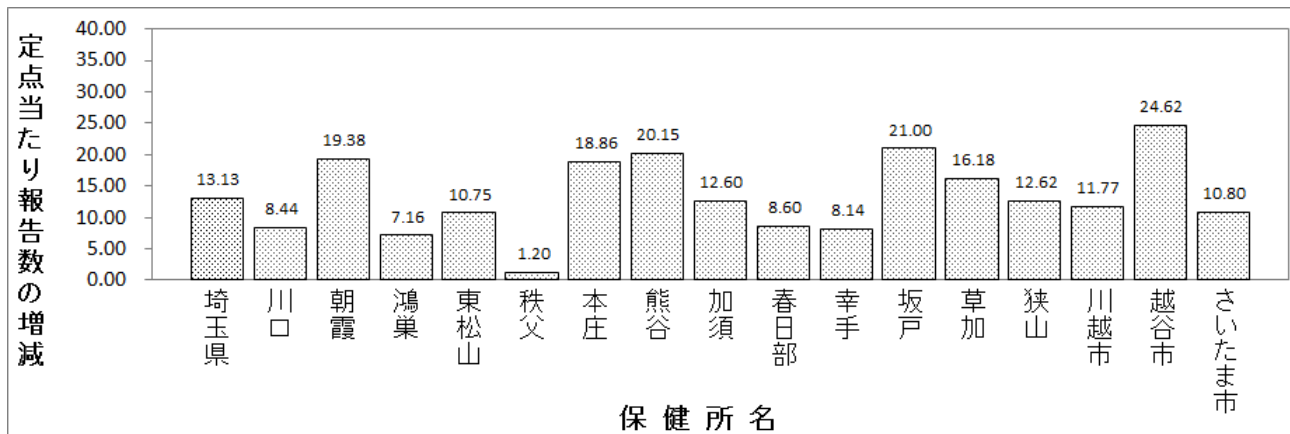


図2 保健所別 定点当たり報告数の増減(2017年3週と4週の比較)

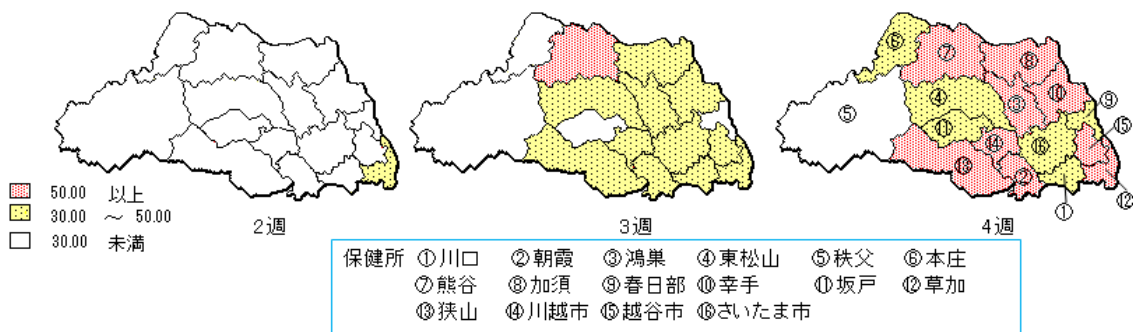


図3 保健所別 定点当たり報告数の推移(2017年2週～4週)

インフルエンザ流行情報（続き）

20歳未満の年齢階級別の患者数は、第4週は5-9歳が4,207人と最も多く、次いで10-14歳の2,493人、0-4歳の2,374人で、5-9歳の増加が著しい(図4)。

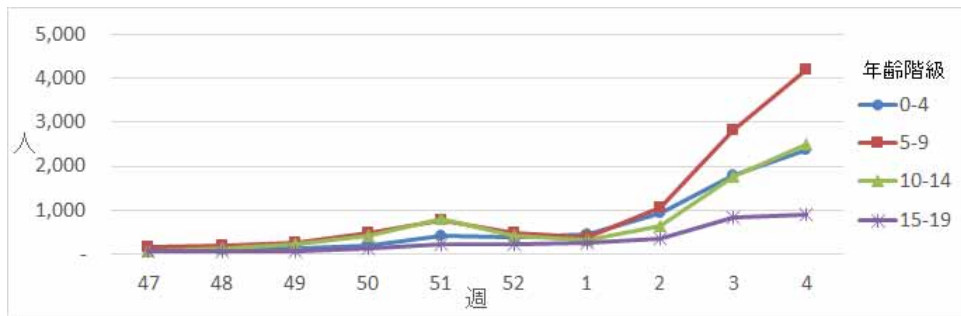


図4 年齢階級別(20歳未満) 報告患者数の推移 (2016年47週～2017年4週)

基幹定点報告対象疾患のインフルエンザ入院は、基幹定点9カ所から33人の報告があった。年齢階級別では70歳以上が19人と最も多く、次いで5-9歳の4人、10-19歳及び60-69歳の各3人であった(図5)。

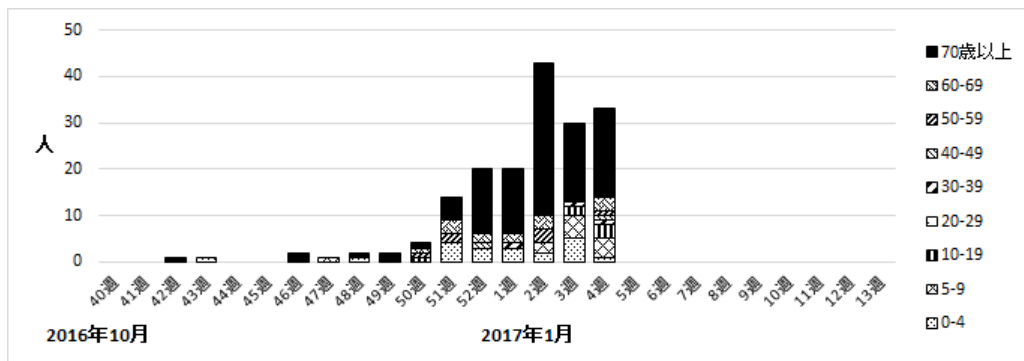


図5 今シーズンのインフルエンザ入院 年齢階級別報告数 (第40週～)

表1. 第1～4週に採取された検体からのインフルエンザウイルス検出数

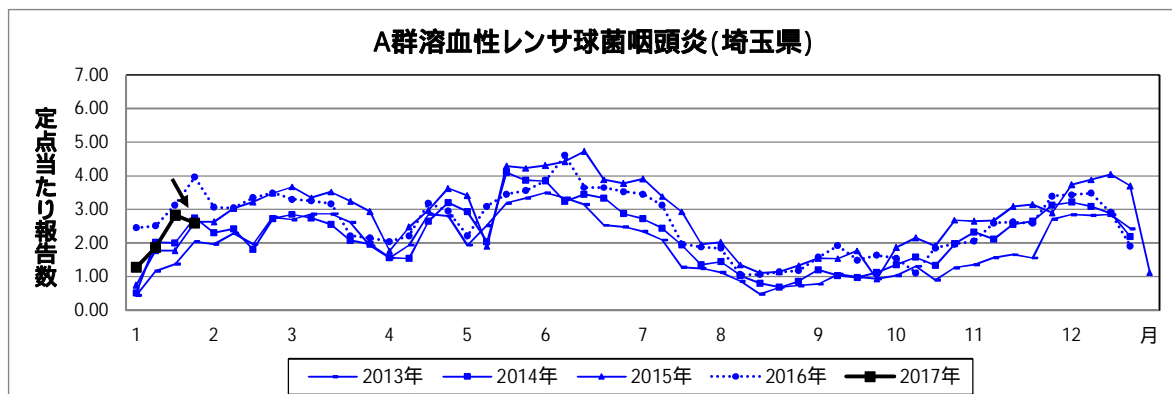
型	1w	2w	3w	4w	4週の合計
AH1 pdm09	-	-	-	-	-
AH3	24	24	26	6	80
Bビクトリア系統	1	2	4	1	8
B山形系統	2	1	-	-	3

(-:0)

第1週(1月2日～1月8日)以降の4週間に、13保健所管内の病原体定点で採取された検体からのインフルエンザウイルスの検出は91件で、A香港型(AH3)が80件と87.9%を占め、A香港型主流の流行が継続している(表1)。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図6 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第4週)

(2017年1月31日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2016年 累計		今週 届出	累 計	2016年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1372	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			2
細菌性赤痢			11	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症	1	3	174				
四類感染症							
E型肝炎		1	15	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1を除く)			
A型肝炎			6	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病				ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサナル森林病				ブルセラ症			
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ボツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱			1	レジオネラ症		2	89
つつが虫病			1	レプトスピラ症			
デング熱	1	3	13	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢	4	8	44	侵襲性肺炎球菌感染症	4	14	108
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			7	水痘*	1	1	9
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	2	50	先天性風しん症候群			
急性脳炎	2	3	38	梅毒	3	9	190
クリプトスポリジウム症				播種性クリプトコックス症			8
クロイツフェルト・ヤコブ病			5	破傷風			4
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	21	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
後天性免疫不全症候群		1	40	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	9
ジアルジア症			1	風しん	1	1	4
侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	9	麻しん			8
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症			7
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲 B型 C型 D型 その他
累計

累計は診断日で集計
* 2016年累計は暫定値です。
* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

保健所	感染症発生動向調査 週情報										保健所別 (第4週 平成29年1月23日～平成29年1月29日)										
	インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 # 3	感染性胃腸炎	インフルエンザ (入院)
全	13,074	29	39	410	893	72	13	8	45	-	1	68	1	20	-	1	3	1	-	-	33
川	51.68	0.18	0.25	2.59	5.65	0.46	0.08	0.05	0.28	-	0.01	0.43	0.03	0.50	-	0.10	0.30	0.10	-	-	3.30
川	1,049	16	6	57	138	5	4	-	7	-	1	8	-	7	-	*	*	*	-	-	*
朝	1,346	1	2	42	60	7	3	-	2	-	-	18	-	1.40	-	-	-	-	-	-	4
朝	61.18	0.09	0.18	3.82	5.45	0.64	0.27	-	0.18	-	-	1.64	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00
鴻	1,022	5	4	20	66	7	-	1	4	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	*
鴻	53.79	0.42	0.33	1.67	5.50	0.58	-	0.08	0.33	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	*
東	336	-	1	8	18	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東	42.00	-	0.20	1.60	3.60	-	-	-	0.40	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
株	80	1	-	5	9	1	-	-	-	-	-	-	-	*	-	-	-	-	-	-	3
株	16.00	0.33	-	1.67	3.00	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00
本	259	-	2	7	11	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本	37.00	-	0.50	1.75	2.75	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊	915	-	-	51	106	4	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	1
熊	70.38	-	-	5.67	11.78	0.44	-	-	-	-	-	0.22	-	1.50	-	-	-	-	-	-	1.00
加	504	3	-	5	2	2	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	*
加	50.40	0.50	-	0.83	0.33	0.33	-	-	0.33	-	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	*
春	369	-	4	36	21	2	1	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	*
春	36.90	-	0.67	6.00	3.50	0.33	0.17	0.33	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	*
幸	743	1	10	16	27	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1
幸	53.07	0.11	1.11	1.78	3.00	0.22	-	-	-	-	-	0.44	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
坂	490	-	-	13	49	2	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4
坂	49.00	-	-	2.17	8.17	0.33	-	-	0.33	-	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00
草	1,028	-	1	23	39	3	-	1	1	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	*
草	60.47	-	0.09	2.09	3.55	0.27	-	0.09	0.09	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	*
狭	1,384	1	3	31	88	7	-	-	5	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	1
狭	53.23	0.06	0.18	1.82	5.18	0.41	-	-	0.29	-	-	0.82	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
川	754	-	-	21	43	3	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	*
川	58.00	-	-	2.63	5.38	0.38	-	0.13	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	*
越	875	-	1	19	22	1	-	1	4	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	5
越	67.31	-	0.13	2.38	2.75	0.13	-	0.13	0.50	-	-	0.38	-	0.50	-	-	-	-	-	-	5.00
さい	1,920	1	5	56	194	24	5	2	13	-	-	5	1	9	-	-	-	-	-	-	13
さい	46.83	0.04	0.19	2.07	7.19	0.89	0.19	0.07	0.48	-	-	0.19	0.13	1.13	-	-	-	-	-	-	13.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 1月 31日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第4週 平成29年1月23日～平成29年1月29日)

	合計																				
	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	13,074	45	98	388	453	527	863	907	930	869	820	681	2,493	889	486	711	757	452	335	222	148
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
RSウイルス感染症	29	4	10	12	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	39	-	1	5	6	8	5	3	2	2	1	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	410	-	2	8	23	31	50	53	41	39	39	30	64	8	22	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	893	4	33	71	69	72	94	79	55	49	46	37	136	35	113	-	-	-	-	-	-
水痘	72	-	-	3	3	3	9	21	10	15	3	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	13	-	3	2	4	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	8	-	1	-	1	1	2	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	45	-	13	24	6	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	68	-	1	2	4	6	6	11	4	5	8	8	9	3	1	-	-	-	-	-	-
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	20	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	1	2	1	7	1	4	4	1	-
合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	33	1	-	4	2	1	-	-	1	-	1	-	-	1	-	3	19	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第2週

(1月9日～1月15日)

平成29年2月1日

インフルエンザの定点当たり報告数は第34週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は愛知県(24.74)、岐阜県(21.00)、埼玉県(20.21)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は983例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(46例)、1～9歳(127例)、10代(32例)、20代(11例)、30代(14例)、40代(15例)、50代(39例)、60代(95例)、70代(159例)、80歳以上(445例)であった。

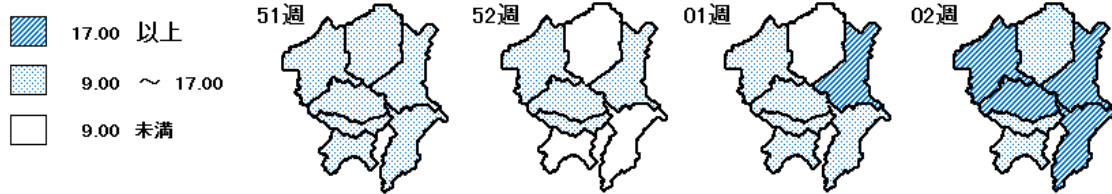
RSウイルス感染症の報告数は1,176例と第41週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約78%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第51週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は富山県(0.69)、三重県(0.64)、鹿児島県(0.64)、佐賀県(0.61)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は鳥取県(4.16)、山形県(3.37)、長崎県(2.98)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(18.25)、福井県(16.05)、宮崎県(15.25)である。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は熊本県(0.98)、宮崎県(0.72)、北海道(0.71)である。手足口病の定点当たり報告数は第44週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.67)、佐賀県(0.61)、熊本県(0.54)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.56)、島根県(0.52)、愛媛県(0.38)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山口県(2.81)、新潟県(2.72)、長野県(2.69)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は岡山県(1.80)、岐阜県(1.60)、福岡県(1.53)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。14都道県から27例報告があり、年齢別では0歳(4例)、1～4歳(17例)、5～9歳(3例)、10代(2例)、70歳以上(1例)であった。

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、埼玉県(20.21)、千葉県(20.04)、茨城県(18.48)、群馬県(17.36)からの報告が多い。

インフルエンザ



		平成29年 02週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	75,576	26,253	2,217	956	1,649	5,093	4,309	6,295	5,734
	定点当たり	15.25	17.31	18.48	12.58	17.36	20.21	20.04	15.17	16.67
RSウイルス感染症	報告数	1,176	125	10	8	9	32	16	23	27
	定点当たり	0.37	0.13	0.13	0.17	0.16	0.20	0.12	0.09	0.13
咽頭結膜熱	報告数	906	178	9	7	12	35	10	66	39
	定点当たり	0.29	0.19	0.12	0.15	0.21	0.22	0.07	0.25	0.18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	4,585	1,440	75	62	131	301	276	348	247
	定点当たり	1.45	1.51	1.00	1.29	2.26	1.87	2.04	1.32	1.15
感染性胃腸炎	報告数	20,506	5,598	467	183	399	1,001	795	1,667	1,086
	定点当たり	6.48	5.87	6.23	3.81	6.88	6.22	5.89	6.34	5.07
水痘	報告数	1,366	410	36	15	25	95	52	98	89
	定点当たり	0.43	0.43	0.48	0.31	0.43	0.59	0.39	0.37	0.42
手足口病	報告数	447	76	7	2	7	11	13	22	14
	定点当たり	0.14	0.08	0.09	0.04	0.12	0.07	0.10	0.08	0.07
伝染性紅斑	報告数	297	93	5	-	10	10	10	41	17
	定点当たり	0.09	0.10	0.07	-	0.17	0.06	0.07	0.16	0.08
突発性発しん	報告数	1,208	392	13	21	26	64	47	125	96
	定点当たり	0.38	0.41	0.17	0.44	0.45	0.40	0.35	0.48	0.45
百日咳	報告数	21	2	-	-	-	1	1	-	-
	定点当たり	0.01	0.00	-	-	-	0.01	0.01	-	-
ヘルパンギーナ	報告数	103	13	1	1	2	2	-	1	6
	定点当たり	0.03	0.01	0.01	0.02	0.03	0.01	-	0.00	0.03
流行性耳下腺炎	報告数	2,694	528	31	7	35	116	36	121	182
	定点当たり	0.85	0.55	0.41	0.15	0.60	0.72	0.27	0.46	0.85
急性出血性結膜炎	報告数	11	3	-	-	-	1	2	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	0.02	0.06	-	-
流行性角結膜炎	報告数	410	171	21	10	15	16	23	14	72
	定点当たり	0.59	0.83	1.24	0.83	1.07	0.39	0.66	0.36	1.50
細菌性髄膜炎 #2	報告数	9	1	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	-	-	0.10
無菌性髄膜炎	報告数	13	2	-	-	-	-	1	-	1
	定点当たり	0.03	0.02	-	-	-	-	0.11	-	0.10
マイコプラズマ肺炎	報告数	341	46	8	7	9	6	5	6	5
	定点当たり	0.72	0.56	0.62	1.00	1.13	0.60	0.56	0.24	0.50
クラミジア肺炎 #3	報告数	10	6	-	2	-	1	-	3	-
	定点当たり	0.02	0.07	-	0.29	-	0.10	-	0.12	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	27	4	-	-	-	-	-	1	3
	定点当たり	0.06	0.05	-	-	-	-	-	0.04	0.30

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2017年 > 感染症の流行状況 2017年 第4週

感染症発生動向調査 2017年

- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)

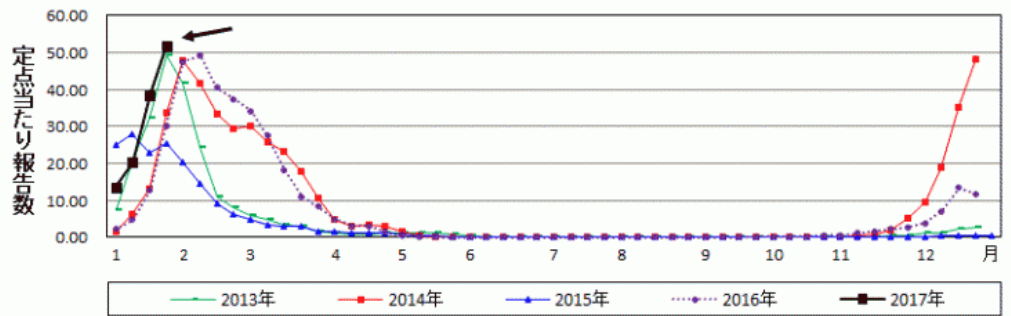
感染症の流行状況 2017年 第4週

2017年第4週（平成29年1月23日～1月29日）の要点 平成29年2月1日

インフルエンザの定点当たり報告数は、前週に引き続き大きく増加しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★★	突発性発しん	↓	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★	百日咳	↓	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★	ヘルパンギーナ	→	★
感染性胃腸炎	→	★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★★
水痘(みずぼうそう)	→	★★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	→	★	流行性角結膜炎	↑	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン